

敬愛



甲斐市立敷島中学校
学校だより第11号
令和5年1月20日
発行 樋川 和之

新しい年を迎えて…

3学期が始まりました！

新しい年が明けました。保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この時期らしい寒さとなった1月10日(火)、敷島中の3学期が始まりました。4機のジェットヒーターをフル稼働させても、体育館の中はなかなか暖まりませんでした。ピンと張り詰めた冬の空気は、3学期のスタートにふさわしいと感じました。3学期は1年の締めくくりの学期であり、高校入試や卒業式などの大きな行事が待っています。1月は「往く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるこの3か月です。授業日数を数えてみると1、2年生は52日、卒業していく3年生は、たったの42日しかありません。短い期間ではありますが、1日1日を大事にして、卒業や進級に備えて「蓄えのとき」にしてほしいと思います。

始業式では、学年代表と生徒会代表の4名の生徒が3学期の抱負を述べました。

1年生代表「いろんなことに挑戦して、大きく成長できる3学期にしたい」

2年生代表「2年生としてのまとめ、最高学年となる準備、当たり前レベルを上げる」

3年生代表「全力で入試に取り組む。課題に最後まで取り組み、高校生として準備をする」

生徒会代表「スローガン進星として輝けるように、最後まで責任をもって活動していく」

このように、4人とも、自分たちのすべきことがよくわかっていて、しっかりとした決意が感じられる発表をしてくれました。始業式で、生徒たちに向けて、このような話をしました。「今さら」、「今から」、「今なら」、「今」という字の後が1文字違うだけで、大きな違いになる。「今さら」、たった50日程度しかないなら、もう今さらと諦めるのか、「今から」、まだ50日あるぞと捉えて、「さあ、今から」と決断して、希望、期待につなげて頑張るのか。さらに、「今なら」と決意して勇気をもって一步踏み出して行動するのか、きっと、42日、52日後に大きな違いとなってあらわれてくる。

とても大切な3学期。1人1人が「今から」「今なら」の気持ちをもって、頑張してほしいと思います。



「敷島中ホームページへ」学校の様子をご覧ください。

<https://www.city-kai.ed.jp/schu/>

